

学校長の願い

生徒も職員も共に学び合い、互いに尊重し、感謝し合える関係性を創りあげましょう。原村を誇りに、誰とも爽やかに挨拶を交わしましょう。悩んでいる人には声をかけ、同じ方向を見つめながら、一步一步、共に歩いていきましょう。目的を共有する仲間達で、共にのびゆく、原中集団を目指しましょう。

《目指す生徒の姿》

- 爽やかに、弾けるあいさつができる生徒
- 自ら計画し、学校でも家庭でも粘り強く、学び続けることができる生徒
- 安心な学校での生活を自ら作ろうとする生徒
- 豊かな人権感覚を持ち、差別やいじめ、からかいを見抜き、許さない生徒

昨年度の学校評価(保護者)から

- ・生徒がきまりよく楽しく学校生活を送れていることへの評価
- ・学校は子どもや保護者の相談に丁寧に対応・連携してくれることへの評価
- ・一人ひとりの子どもの個性や特性を生かした学校作りへの期待
- ・分かりやすく学力がつく授業への期待
- ・自ら進んで行動、表現することができるような教育への期待

自主 連帯 創造 誠実

開かれた学校・家庭地域との連携

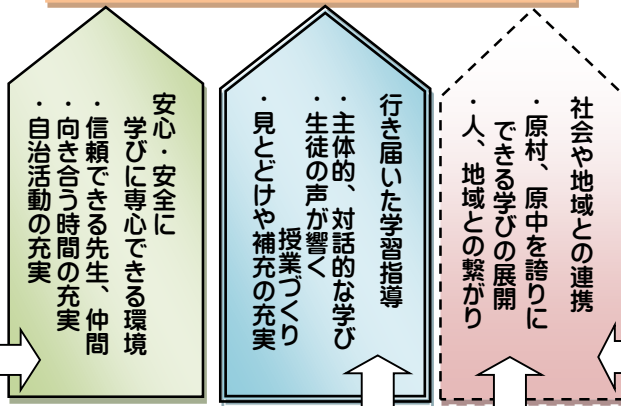
- ①発信と参画
 - ・学校便り(年4回)、HPによる発信
 - ・保護者アンケート、学校評議員会
- ②行事運営協力
 - ・強歩大会、もみの木祭、平和学習 弁当の日(食育)
 - ・職業(農業)体験、福祉教育 ボランティア体験、読み聞かせ
- ③危機管理、安全指導
 - ・交通安全指導、避難、防災訓練
 - ・情報教育(SNS、モラル、家庭との連携)
 - ・人権教育、性教育
- ④原村コミュニティー
 - ・原村教育研究会(幼保小中連携)
 - ・原っこ保健・給食委 ・民生委
 - ・青少年健全育成委、部活動運営委

生徒指導・生徒理解

- ①自己肯定感の育成
 - ・やる気と勇気をもってことにあたる意欲を培う。
 - ・自分らしさ、自分がいることの価値を尊重する。
- ②「生き抜く力」の育成
 - ・粘り強くやり抜く力
 - ・自分や人を大切にできる力
- ③共感的、受容的支援
 - ・背景にあるものを大切に思いや考えを傾聴する。
 - ・向き合う時間の充実
- ④生徒会活動の充実
 - ・暮らしやすさ、挨拶運動

本年度の重点

- 1 誠実・快活に暮らす
- 2 目標に向かい、逞しく切り拓く
- 3 できる・わかる、を積み重ねる

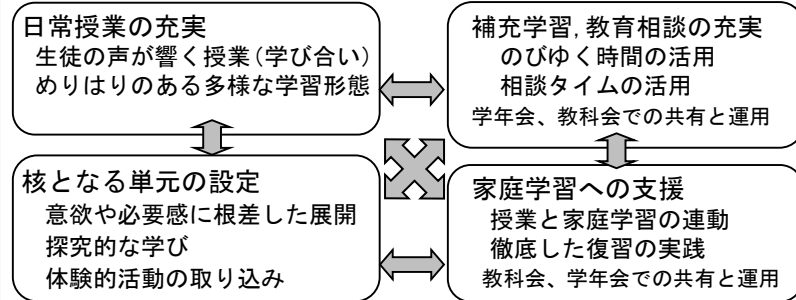


◇学習指導のねらい(目標)

- 生徒が主体的、対話的に生き生きと学ぶ授業
- 真剣に聴き、思いや学びとつなげ、伝える(書く、話す)授業
- 授業の見とどけと単元を通した学びの捉えと定着の確認

学習の心得 10カ条
 学びの質を高める3カ条 授業を支える7カ条

◇具体的な取組



◇授業力・学力の向上の検証

- 校内公開授業の授業づくりと成果と課題の共有
- 各種学力調査、授業評価調査等から『自らの』指導見直し

◇道徳教育(特別な教科 道徳)

- ・対話や議論から多様な考え方を取り込む授業
- ・学び、深まりの見とり(T・T、学習カード)

◇特別活動

- ・自己をみつめ、安心して自己を語る集団づくり
- ・多様なコミュニケーション活動の創造と推進

◇総合的な学習の時間

- ・原村を題材とし問いがつながるキャリア教育の推進
- ・探求的な学びとなるカリキュラムマネジメント

◇特別支援教育(インクルーシブ教育)

- ・個別の指導計画の吟味、作成と評価
- ・ユニバーサルデザインを意識した皆ができる、わかる 授業づくり・環境整備

◇人権教育・性教育

- ・生・性への慈しみの心を育てる指導
- ・自己を大切にし、他者を尊ぶ心情と態度の育成
- ・いじめに気づき、なくそうとする自治活動

◎各種調査分析、生徒・教職員の実態から、強みの一層の強化と課題の克服 ⇒ 数値を上げる

H28 学力学習状況調査 本校の強み→ (原中 県 全国)	地域社会等でボランティアに参加した。 63% 39% 48%	家で、自分で計画を立てて勉強をしている。 26% 14% 16%	本校の課題→	1,2年の頃授業で目標(めあて等)が示されていた。 7% 15% 17%	総合的な学習の時間の勉強は好きだ。 11% 20% 26%
-------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	--------	---	----------------------------------

職場環境の充実 (働きやすい職場環境づくりが、より一層、生徒の学びの質を深めることに直結する。)

- ・連携、連絡し教育の多層的構造を構築する…学校にしかできないもの、地域の協力をいただくもの、地域・家庭に任せるもの
- ・本当に必要なことを浮き彫りにする…ワークライフバランスを考え、健全な仕事のあり方、仕方を研究・実践する。